

# 領域横断的な視点からみる 音楽教育の未来

主催 日本学校音楽教育実践学会

後援 東京都教育委員会 埼玉県教育委員会 茨城県教育委員会  
群馬県教育委員会 栃木県教育委員会 千葉県教育委員会

大会HP



日時 2023年8月19日(土)・20日(日)

会場 国立オリンピック記念青少年総合センター  
(東京都渋谷区代々木神園町3-1)



## 日程

### 8月19日(土)

- 9:30 受付開始 (カルチャー棟小ホール)
- 10:00 セミナー (カルチャー棟小ホール)  
領域横断的な視点が切り拓く  
音楽教育の新たな世界 その1  
- ヒトの進化と音楽、リズム、動き、言語 -
- 12:00 昼食・受付 (センター棟1階)
- 13:00 自由研究 1-6 (センター棟4~5階研修室)
- 15:00 休憩
- 15:15 課題研究 (カルチャー棟小ホール)  
「生成の原理」に基づく  
音楽科授業における教科内容の体系 その2
- 17:15 総会 (カルチャー棟小ホール)
- 18:00 1日目閉会

### 8月20日(日)

- 8:30 受付開始 (センター棟1階)
- 9:00 自由研究 7-11 (センター棟5階 研修室)
- 11:30 休憩
- 13:00 参加型教材実験プロジェクト (センター棟4階 研修室)  
I 近畿支部 (403室)  
身の回りの素材から生まれる音の可能性  
- 素材の比較を通して -  
II 中部支部 (405室)  
変わりゆく民謡  
- 日本民謡の可能性を探る -
- 15:00 2日目閉会

会場

# 国立オリンピック記念青少年総合センター

(東京都渋谷区代々木神園町3-1)

## JR東京駅から

JR中央線 約14分 新宿駅 乗り換え  
小田急線 各駅停車 約3分  
参宮橋駅 下車 徒歩 約7分

## 小田急線

参宮橋駅 下車 徒歩 約7分

## 地下鉄千代田線

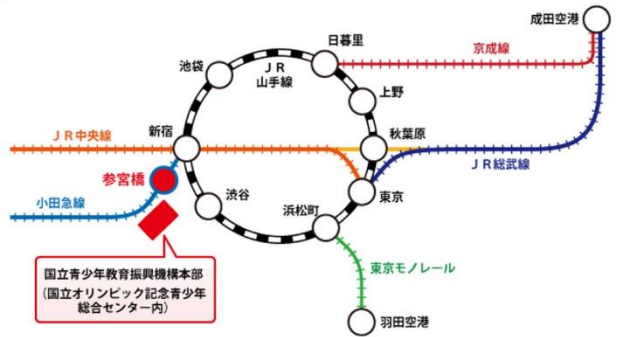
代々木公園橋駅 下車  
代々木公園方面4番出口より 徒歩 約10分

## 羽田空港から

東京モノレール 約23分 浜松町駅 乗り換え  
JR山手線 (外回り) 約23分 新宿駅 乗り換え  
小田急線 各駅停車 約3分  
参宮橋駅 下車 徒歩 約7分

## 京王バス

新宿駅西口 (16番) より 運行系統「宿51 渋谷駅行」 代々木5丁目停留所下車 徒歩1分  
渋谷駅西口 (40番) より 運行系統「宿51 新宿駅西口行」 代々木5丁目停留所下車 徒歩1分



## 成田空港から

JR総武線 成田エクスプレス 約90分 新宿駅 乗り換え  
小田急線 各駅停車 約3分  
参宮橋駅 下車 徒歩 約7分



会場図

コンビニエンスストア：D棟1階  
飲食スペースあり

受付(1日目午後～)：センター棟1階 105会議室  
自由研究・参加型教材実験プロジェクト：4・5階 研修室

セミナー(1日目午前受付)・課題研究・総会：カルチャー棟 小ホール

至 参宮橋駅

正門

## 宿泊・昼食等に関して

- ・時期的に宿泊施設、航空券、乗車券等が入手しにくいことが予想されます。早めに予約をとられることをお勧めします。宿泊施設につきましては、とくに斡旋をいたしませんので各人でとられますようお願いいたします。
- ・昼食につきましては令和5年5月現在、センター棟2階カフェテリア『ふじ』のみ営業しています。なお、参宮橋駅東口から当施設まではコンビニエンスストアがありませんので、西口周辺の店舗をご利用ください。
- ・会場へは公共交通機関をご利用ください。有料地下駐車場 (一般車両) につきましては施設HPをご覧ください。

# 大会参加要領

- **参加費** セミナー参加費 2,000円（先着250名）  
大会参加費 4,000円（学生2,000円、但し現職院生除く）  
※会員、非会員どなたでもご参加いただけます。
- **参加申込** 8月10日（木）申込締切  
Peatixによるオンライン決済  
URL <https://ongakujissen2023.peatix.com/> 
- **連絡先** HP URL <https://www.27ongakujissen.com/>  
大会実行委員会(mail) jissen.tokyo28@gmail.com
- **発表時間** 自由研究は、発表20分、質疑7分です。
- **要旨集録**  
事前データ  
配信のみ
  - ・ 要旨集録の印刷・配布は致しません。事前に大会実行委員会より参加申込者にお送りする『大会要旨集録』のPDFデータを、各自のデバイス等でご覧ください。
  - ・ 会場にはFree Wi-Fiが整備されています。ただし、カルチャー棟 小ホール客席には対応しておりません。
- **その他**
  - ・ 当日、各会場でのビデオ撮影はご遠慮ください。
  - ・ 日本学校音楽教育実践学会から出版されている書籍及びDVDは学会事務局にて販売しております。  
学会事務局（mail）ongakujissen□yahoo.co.jp  
（□は小文字の@）
  - ・ 入会希望者  
▶ <http://jassmep.g2.xrea.com/admission.html>



音楽教育実践学事典  
（音楽之友社）

定価3,455円⇒学会価格2,800円



生成を原理とする  
21世紀音楽カリキュラム  
（東京書籍）  
DVDのみ 2,000円

DVDのみ 2,000円



学校音楽教育実践シリーズ  
思春期の発達の特性と音楽教育  
（音楽之友社）

定価2,000円⇒学会価格1,800円



音楽科カリキュラムと  
授業実践の国際比較  
（音楽之友社）

定価3,150円⇒学会価格2,700円

# セミナー

8月19日（土）

10:00～12:00

会場：カルチャー棟  
小ホール

## 領域横断的な視点が切り拓く音楽教育の新たな世界

その1 ヒトの進化と音楽、リズム、動き、言語

自然人類学 長谷川真理子氏

本学会では、設立当初より、全国大会の初日にセミナーを開催してきましたが、コロナ禍が明け、今大会よりセミナーも一新します。現在、学校現場ではカリキュラムオーバーロードなどの問題を解消するために、教科を横断させてカリキュラムをマネジメントすることが求められています。しかしながら、それは各教科を単に表面的につなぎ合わせることで解決するものではありません。人間が生きるという営みの大元に立ち戻り、人間の営みやその発展としての学問領域の観点から課題をとらえなおす必要があるのではないのでしょうか。

そこで、今回より「領域横断的な視点が切り拓く音楽教育の新たな世界」と題し、音楽以外の専門領域の方々を講師に迎え、他領域との交流を通して人間が生命を持続発展していくという営みから教科横断のあり方について考えていきたいと思えます。イノベーションを起こすためには異質な分野との交流は欠かせません。本セミナーを通して学校音楽教育にたずさわるわれわれの認識が広がっていくことを期待しています。どうぞふるってご参加ください。

### 長谷川真理子氏からのメッセージ

私は、ヒトという動物がどのようにして進化してきたのかを探る自然人類学者で、ヒトの脳や心の働きがどのような背景で進化したのかを研究している。言語、文化、芸術はヒトに特異的な性質であり、それらの進化を知ることは、自然人類学の大きな課題の一つだ。こんな研究のためには、一つ分野に閉じてはられない。ヒトの暮らしは、いろいろなことがすべて関連しており、縦割りの思考を取り払えば、新たな視界が開けてくるだろう。—長谷川真理子

講師 長谷川真理子氏  
プロフィール

日本芸術文化振興会理事長。専門は行動生態学、自然人類学。野生のチンパンジー、英国のダマジカなどの研究ののち、最近是人間の進化と適応の研究を行っている。日本進化学会代議員。

著書に『生き物をめぐる4つの「なぜ」』（集英社新書）、『私が進化生物学者になった理由』（岩波現代文庫）、『ダーウィンの足跡を訪ねて』（集英社新書）、『世界は美しく不思議に満ちている』（青土社）、『進化的人間考』（東京大学出版会）などがある。



# 自由研究1

第1日目 8月19日(土)  
センター棟5階 502室

司会 松本 康子(大阪市立阪南小学校)  
岡橋 智栄美(香川県高松市立川島小学校)

- 13:00 大学の一般教育における体験を伴う音楽鑑賞学習  
ー旋律と和声を捉える試みー  
安藤 江里(松本大学)
- 13:30 総合的な芸術の鑑賞における問題解決過程にみられる媒体の関連  
渡邊 真一郎(畿央大学)
- 14:00 音楽科授業において論理的思考力を育むための教師の働きかけ  
ー〈春〉を題材とした中学校音楽科鑑賞領域の授業の分析ー  
酒井 一樹(ドルトン東京学園中等部・高等部)
- 14:30 「本質的な問い」による鑑賞の評価  
ー日本の伝統音楽の場合ー  
○内田 有一(上野学園大学短期大学部)  
中内 悠介(東京学芸大学附属世田谷中学校)

# 自由研究2

第1日目 8月19日(土)  
センター棟5階 503室

司会 清水 宏美(玉川大学)  
柿谷 隆子(京都市立洛北中学校)

- 13:00 T. デノーラの「アフォーダンス (affordance) としての音楽」概念に焦点をあてた音楽実践の様相  
ー個人と音楽のかかわりに注目してー  
松宮 利佳(福井大学教育学部附属義務教育学校)
- 13:30 音楽づくりと前層  
ー和音と旋律の関係に着目してー  
松下 行馬(神戸市立桜の宮小学校)
- 14:00 小学校音楽科における「和音と低音のはたらき」に関する研究  
○牛頭 真也(東京家政大学・非常勤)  
玉城 菜々子(横浜市立生麦小学校・臨任)
- 14:30 器楽合奏における表現を引き出す授業実践の一考察  
山岸 多恵(平安女学院大学)

# 自由研究3

第1日目 8月19日(土)  
センター棟5階 510室

司会 古澤 誠朗(大分県立新生支援学校)  
洞 孔美子(広島県立広島特別支援学校)

- 13:00 音楽科歌唱授業における教師による「発想標語」の示唆の効果  
—表現の工夫から表現の技能への過程に着目して—  
前田 直人(鳴門教育大学大学院生)
- 13:30 ドラム演奏を支援する動画教材「ポチポチ版」活用の広がり  
—「多様な学びの場」をつなぐものとして—  
○園田 政則(大阪府立吹田支援学校)  
園田 葉子(大阪音楽大学)
- 14:00 特別支援学校における子どもの演奏活動とその指導  
—教師の経験の語りから—  
永杉 理恵(東京大学大学院生)
- 14:30 中学校音楽科における読譜の必要性  
—中学校の実践を通して—  
荒木 美香(明星大学・非常勤)

# 自由研究4

第1日目 8月19日(土)  
センター棟5階 511室

司会 寺井 郁子(中部大学)  
二宮 貴之(聖隷クリストファー大学)

- 13:00 図形認識を利用したピアノ初心者の読譜と実践  
—iPadで作成した教材を使用して—  
玉護 眞理子(岐阜大学・非常勤)
- 13:30 「子どもの歌」の弾き歌い初学者に対する教師の「問いかけ」の影響  
—保育者養成教育としての「音楽I」におけるグループレッスンの分析—  
西岡 雄太(東海学園大学・非常勤)
- 14:00 反転授業としての保育者養成「音楽」における学修の連続性に関する考察  
—《ぞうさん》の弾き歌いの事例分析—  
小栗 祐子(東海学院大学)
- 14:30 保育教員養成における読譜スキル向上の研究  
高崎 展好(環太平洋大学)

# 自由研究5

第1日目 8月19日(土)  
センター棟5階 513室

司会 矢倉 瞳(四天王寺大学)  
永井 美由紀(広島文化学園大学)

- 13:00 保育者養成における歌唱表現  
—歌詞を伝えるために—  
藤田 桂子(名古屋文化学園保育専門学校)
- 13:30 保育者養成における実習に向けた音楽活動Ⅲ  
岸 久美子(聖徳大学大学院生)
- 14:00 保育者養成における内的聴覚を養うための実践  
平澤 節子(名古屋女子大学短期大学部)
- 14:30 一斉活動における年少児の音素材との相互作用にみられる表現形成過程  
三輪 雅美(名古屋柳城女子大学)

# 自由研究6

第1日目 8月19日(土)  
センター棟4階 409室

司会 福士 幸雄(岩手県滝沢市立滝沢南中学校)  
谷本 直美(桐蔭横浜大学)

- 13:00 模擬授業の学習指導案の振り返りによる授業設計の構想  
油井 宏隆(大阪城南女子短期大学)
- 13:30 わらべうた遊びを基軸とした認知症高齢者との音楽活動  
—「社会に開かれた教育課程」の在り方に関する検討—  
長谷川 真由(大阪音楽大学)
- 14:00 小学校教員養成課程における拍とリズムの基礎的習得について(2)  
—リズム唱の活用—  
宮 祐子(東京家政大学)
- 14:30 指揮法の学習に弦楽アンサンブルを用いることの有効性  
—小・中学校の教員を対象とした指揮法講習会の分析と考察—  
松井 裕樹(岐阜大学・非常勤)

# 課題研究

8月19日（土）  
15:15～17:15

会場：カルチャー棟  
小ホール

その2

教科内容の観点からみた教材研究の視点

## 「生成の原理」に基づく音楽科授業における教科内容の体系

### 問題の所在

平成29年改訂学習指導要領において資質・能力（コンピテンシー）ベースの教育課程への転換を受け、本学会ではこれまで、「生成の原理」に基づく音楽科授業で育成すべき資質・能力を導出してきた。そして、資質・能力の育成は、教科内容（コンテンツ）とのかかわりがあるからこそ実現するものである。

「この教材で何を教えるのか」という教科内容について、教育実践と関わらせて究明することは喫緊の課題といえる。そこで、昨年度からの課題研究のテーマに「『生成の原理』に基づく音楽科授業における教科内容の体系」を設定した。その目的は、「生成の原理」に基づく教材研究および実践研究を通して、音楽科における教科内容の体系を構築することにある。

1年次は、音楽科の授業研究において、なぜ「教科内容」に注目するのか問題意識を共有し、「教科内容」の具体としての「指導内容」とはどういうものなのかについて授業実践事例を検討し共通理解をはかった。

### 方法

「生成の原理」に基づく音楽科の教科内容の理論的枠組みを明確にした上で、教科内容を授業実践の次元での指導内容として捉え直し、4側面の関連についての実践・検証を行い、そこから教科内容の体系を導き出すという教育実践学の研究方法をとる。





## 2年次の趣旨

2年次の目的は教科内容の観点からみた教材研究の視点について、授業実践事例を材料として議論を深めることである。そのために、まず前半では「教材研究」「教材研究の視点」の定義を確認し、教科内容の観点からみた教材研究の視点について、小学校及び中学校の授業実践での具体的な子どもの姿を通して提示する。そして、後半では、実践者の立場、実践にかかわった音楽の専門家および教科教育の立場から、前半の実践での子どもの姿を材料に、教材研究の視点がいかに子どもの姿に現れていたかについて討論する。

## 内容

司会 松本絵美子（国立音楽大学附属小学校）

### 1 趣旨説明

鉄口真理子（鳴門教育大学）

### 2 実践にみる教材研究の視点とその具体の姿

小学校第3学年の実践

清水美穂（徳島県吉野川市立知恵島小学校）

中学校第2学年の実践

鈴木健司（東海中学校）

### 3 パネルディスカッション

「教材研究の視点が授業にどのように表れていたか」

授業実践者

清水美穂（徳島県吉野川市立知恵島小学校）

鈴木健司（東海中学校）

音楽の専門家

松岡貴史（作曲家・徳島文理大学）

藤間勘萃（作編曲家・東海学園大学非常勤講師）

教科教育

鉄口真理子（鳴門教育大学）

横山真理（東海学園大学）

### 4 全体についての質疑

# 総会

8月19日（土）17:15～18:00

## 令和5年度 日本学校音楽教育実践学会 総会次第

- 1 開会の辞 清水副代表理事
  
- 2 代表挨拶 清村代表理事
  
- 3 議長選出
  
- 4 議事（案）
  - （1）令和4年度事業報告（第28回全国大会まで）とその承認
  - （2）令和4年度会計報告とその承認
  - （3）令和5年度事業計画案（第28回全国大会以降）とその承認
  - （4）令和5年度予算案とその承認
  - （5）年会費の学生会費について
  - （6）その他
  
- 5 報告事項（案）
  - （1）各種委員会報告
    - \* 編集委員会
    - \* 研究奨励賞審査委員会
    - \* DXワーキンググループ
  - （2）第29回全国大会の日程・会場について
  
- 6 その他
  
- 7 閉会の辞

※総会終了後、第15回（2020年度）、第16回（2021年度）ならびに第18回（2023年度）の研究奨励賞受賞者への授与式を実施する。

# 自由研究7

第2日目 8月20日(日)  
センター棟5階 502室

司会 高田 遥(大阪教育大学附属平野小学校)  
硯 阿哉子(大阪市立開平小学校)

- 9:00 音楽科授業に活かす音素材から音楽の生成へ  
篠原 眞紀子(日本福祉大学)
- 9:30 紙を素材とした音楽づくりにおける子どもの学びの過程の一考察  
—生活との結びつきに着目して—  
加藤 柚乃(京都教育大学附属桃山小学校)
- 10:00 音楽づくりにおける表現の工夫にみる児童の創造性  
高垣 実久(鳴門教育大学大学院生)
- 10:30 わらべうたを教材とした音楽授業における遊びと歌唱表現とのかかわり  
島本 政志(大阪教育大学附属平野小学校)
- 11:00 小学校第1学年の音楽づくりにみる児童の音に対する意識の変容について  
—身体表現・図形楽譜の効果に着目して—  
藤岡 美樹(大分県別府市立上人小学校)

# 自由研究8

第2日目 8月20日(日)  
センター棟5階 503室

司会 若宮 由美(埼玉学園大学)  
野上 華子(京都教育大学附属桃山中学校)

- 9:00 音階の教材化に関する研究  
—世界の音階と舞踊に着目して—  
森保 尚美(広島女学院大学)
- 9:30 管楽器を題材としたSTEAM教育を考慮した授業  
—フルートとバグパイプの教材化の試み—  
○盛田 祥史(北海道教育大学旭川校学部生)  
二瓶 優花(北海道教育大学旭川校学部生)  
芳賀 均(北海道教育大学旭川校)
- 10:00 箏の創作の授業における生徒のイメージ形成と感性の育成の実態  
出村 志織(石川県立津幡高等学校)
- 10:30 「伝統や文化」を取り入れた小学校音楽科授業の開発と検討Ⅲ  
桐山 由香(大阪青山大学)
- 11:00 日本とブータンの国際交流を通じた伝統音楽の教材開発  
—「もとしりうた(日本)」・「パチ(ブータン)」の仕事うたづくりの実践—  
平出 久美子(新潟県長岡市立大河津小学校) 9

# 自由研究9

第2日目 8月20日(日)  
センター棟5階 510室

司会 渡会 純一(東北福祉大学)  
鈴木 健司(東海中学校)

- 9:00 新しいバディ  
ー対話型AIとのコンビネーションを音楽の授業へ活用するためにー  
中井 拓哉(大阪星光学院中学・高等学校)
- 9:30 小学校音楽科におけるscratch導入の単元開発  
ー和音の構成音を用いた音楽づくり授業を通してー  
上林 千紗子(鳴門教育大学大学院生)
- 10:00 ICTを活用した協働的な音楽表現の場づくり  
ー琉球音階を使った旋律づくりを通してー  
○金城 貴裕(琉球大学大学院生)  
小川 由美(琉球大学)
- 10:30 生活経験に基づいた授業構成におけるICT活用の可能性  
ー中学3年生の創作活動の実践を通してー  
興梠 徹(大阪府箕面市立第五中学校)
- 11:00 本人の声質のまま音高の変更が可能な音響システムを利用した学習者の音高  
再生力の変容  
佐藤 和貴(高崎健康福祉大学)

# 自由研究10

第2日目 8月20日(日)  
センター棟5階 511室

司会 室町 さやか(国士舘大学)  
望月 たけ美(常葉大学)

- 9:00 遊びの中で自然に生まれた幼児の音・音楽表現の教育的意義  
ー『「芸術の6層」による教育』(磯部, 2020)をてがかりにー  
堀上 みどり(環太平洋大学)
- 9:30 保育者養成課程における実践調査に基づく絵本創作と活用の提案  
ー手遊び歌の事例に着目してー  
安江 真由美(岐阜大学)
- 10:00 保育者・教員養成における「わらべうた」の遊び直し経験の意義  
宮澤 多英子(川口短期大学)
- 10:30 保育者養成におけるアクティブラーニングの試み(2)  
ー音楽人形劇の制作と幼稚園での発表を通してー  
若谷 啓子(帝京大学)

司会 藤本 佳子(大阪教育大学)  
衛藤 晶子(畿央大学)

- 9:00 幼児の歌唱時における急速眼球運動(saccade)の定量的分析に基づく特徴量  
佐野 美奈(常葉大学)
- 9:30 音楽教育実践学としての授業研究における研究方法論の検討  
ー内的な思考・イメージ・感情の動きを分析するためにー  
横山 真理(東海学園大学)
- 10:00 クラシック音楽のアレンジ活動を軸とした授業の有用性  
ー中学校音楽科における実践および質的分析を通してー  
齋藤 紘希(広島市立日浦中学校)
- 10:30 高学年児童の音楽嗜好に着目した器楽合奏授業における「楽しさ」の質的検討  
ーグラウンデッド・セオリー・アプローチによる分析からー  
齋藤 理加(福井県南越前町立今庄小学校)

# 参加型教材実験プロジェクト

8月20日（日）13:00～15:00 センター棟4階

教材を手掛かりに参加者の発想を交流し、どんな授業ができるか構想する実験的なプロジェクトです。

## I 近畿支部(403室)

### 身の回りの素材から生まれる音の可能性 —素材の比較を通して—

○渡邊真一郎（畿央大学）

石光政徳（大阪教育大学附属池田小学校）

大和賛（京都教育大学附属桃山小学校）

現行の学習指導要領では、「生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力」の育成が目指されています。この「生活や社会の中の音」とは何なのでしょう。それらを扱うことはなぜ重要なのでしょうか。

本プロジェクトでは、様々な素材（木、石、紙、缶）に実験的に関わり、素材から生まれる多様な音を味わう経験をします。参加者の感性により音を生み出すことや、特質の違う素材を比較検討することを通して、それぞれの素材ならではの特徴やよさについて議論を行います。その経験から、素材から生まれる音の教材としての可能性を探ります。

「生活や社会の中の音」を教材として扱うことの重要性について一緒に考えてみましょう。



## II 中国支部(405室)

### 変わりゆく民謡

#### —日本民謡の可能性を探る—

○富樫真紀（広島県東広島市立西条小学校）

森保尚美（広島女学院大学）

瀬良みづほ（広島県広島市立鈴張小学校）

民謡は、人々の生活の中で、仕事や儀式、お祭りなどで歌い継がれてきました。学習指導要領では「我が国や郷土の音楽に親しみ、よさを一層味わうこと」が求められています。

しかし、新型コロナウイルスの感染拡大も影響し、歌い継ぐ人は減少している現状があります。一方で、ロックや電子楽器など様々な音楽を掛け合わせた新しい民謡も生まれています。

本プロジェクトでは、和楽器を伴奏に歌われる伝統的な民謡と現代的に様々なアレンジされた民謡を素材として提供します。これらの楽曲を教材にすることでどのような授業を作ることができるか、参加者の皆様と共に考えていきたいと思ひます。



# 第1回 音楽教育実践学 フォーラムの ご案内

## 1 趣旨

これまで本学会全国大会において企画されてきたフォーラムを継続・発展させる形で、「音楽教育実践学フォーラム」を毎年度継続的に開催します。本フォーラムでは、『音楽教育実践学事典』に掲載されている用語や内容をトピック的に取り上げ、より良い音楽教育の創造のための理解を深めていくことができればと考えています。第1回のテーマは「保育者養成教育としての音楽授業における反転学修の可能性」です。会員、非会員問わず多くの方のご参加をお待ちしております。

## 2 日程

2023年11月26日（日） 12:30開場 13:00-16:00

## 3 場所

東海学園大学 名古屋キャンパス

## 4 形態

ハイフレックス型（参加者が対面かオンラインかを自由選択できる方式）

## 5 申し込み

会員・非会員いずれも無料

## 6 問い合わせ先

横山真理（東海学園大学）[yokoyama-m@tokaigakuen-u.ac.jp](mailto:yokoyama-m@tokaigakuen-u.ac.jp)

学会HP



\*音楽教育実践学フォーラムの情報は、随時学会ホームページでお知らせします。

# 日本学校音楽教育実践学会 第28回 全国大会プログラム

2023年6月30日発行

事務局 〒772-8052 徳島県鳴門市鳴門町高島中島748  
鳴門教育大学大学院 学校教育研究科  
鉄口研究室気付  
TEL & FAX : 052-915-5072  
<http://jassmep.g2.xrea.com>

大会実行委員会 大会委員長：松本 絵美子 (国立音楽大学附属小学校)  
実行委員長：宮澤 多英子 (川口短期大学)  
実行委員：金田 美奈子 (文京区青柳小学校)  
桑原 章寧 (貞静学園短期大学)  
齊藤 淳子 (川口短期大学)  
清水 匠 (土浦市立土浦第五中学校)  
館岡 真澄 (武蔵野音楽大学)  
津布楽 杏里 (貞静学園短期大学)  
寺田 己保子 (前：埼玉学園大学)  
山口 茜 (川口短期大学)  
山本 幸正 (埼玉学園大学)  
若谷 啓子 (帝京大学)



WEBブラウザを使って、鍵盤ハーモニカの基礎を楽しく学べる！  
**デジタル音楽教材けんぱんハーモニカ授業**

〈スクールライセンス〉 385円 (1ライセンス、税込) ※30ライセンスから  
〈シングルライセンス〉 6,600円 (税込)

WEBブラウザを使って、ソプラノリコーダーの基礎を楽しく学べる！  
**デジタル音楽教材ソプラノリコーダー授業**

〈スクールライセンス〉 385円 (1ライセンス、税込) ※30ライセンスから  
〈シングルライセンス〉 6,600円 (税込)

■学校向けホームページ 【MUSIC PAL】 <http://jp.yamaha.com/musicpal/>

■お問い合わせ 株式会社ヤマハミュージックジャパン 管弦打楽器部 マーケティング課 〒108-8568 東京都港区高輪 2-17-11 TEL.03-5488-1686

または、お客様コミュニケーションセンター 管弦打楽器ご相談窓口 ナビダイヤル(全国共通)TEL.0570-013-808 ※つながらない場合は 053-411-4744 へおかけください。

営業時間：月～金 10：00～17：00(土曜・日曜・祝日・センター指定休日を除く)

※本広告には、メーカー希望小売価格(税込)を表示しています。

株式会社ヤマハミュージックジャパン



# 指導現場での実践に役立つ!

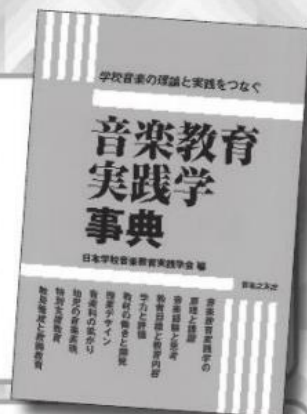
音楽之友社の好評既刊より

## 音楽教育実践学事典

日本学校音楽教育実践学会 編

A5判・320頁 定価 3,520円 ISBN978-4-276-31129-9

理論と実践の往還関係に基づいた「教育実践学」を提唱してきた日本学校音楽教育実践学会の20年余にわたる研究成果を集大成した事典。第1章 音楽教育実践学の原理と課題、第2章 音楽経験と思考、第3章 教育目標と教育内容、第4章 学力と評価、第5章 教材の働きと開発、第6章 授業デザイン、第7章 音楽科の拡がり、第8章 幼児の音楽表現、第9章 特別支援教育、第10章 教員養成と教師教育 の全10章構成。研究者・学生・現場教員必携。



日本伝統音楽  
カリキュラムと授業実践  
生成の原理による音楽の授業

日本学校音楽教育実践学会 編

## 【音楽指導ブック】日本伝統音楽 カリキュラムと授業実践 生成の原理による音楽の授業

日本学校音楽教育実践学会 編

B5判・116頁 定価 3,080円 ISBN978-4-276-32165-6

日本学校音楽教育実践学会が2011年より5年をかけて、日本伝統音楽のカリキュラムに特化した課題研究に取り組み、その研究成果を整理し、さらに検討を加えたもの。3つの柱人と地域と音楽、音楽の仕組みと技能、音楽と他媒体) からのカリキュラムの考え方を示し、3つの柱のそれぞれの具体的な指導内容を示している。後半には幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校における実践事例を紹介している。切り取って使えるカリキュラム表の折り込み付録付き。

【教育音楽ハンドブック】

## 未来につながる音楽授業

コロナ禍の筑波大学附属小学校  
音楽科 Diary 子どもたちの軌跡

高倉弘光、平野次郎、笠原史史 著

A5判・160頁 定価 2,420円

ISBN978-4-276-32101-4

コロナ禍での授業づくりをレポート。またコロナに限らず「予測困難」な事態に遭遇した際、教師はどのように教育活動を続けるべきか、そのヒントを得られる一冊。



【音楽指導ブック】

## これでできる！ 音楽科の授業創り

すぐに使える指導案・ワークシート事例集

清水宏美 著

B5判・256頁 定価 3,080円

ISBN978-4-276-32176-2

授業づくりの基本、学習指導案の書き方、年間指導計画の立て方、すぐに使えるワークシートなども網羅。中学校音楽科教師必携の一冊。



【音楽指導ブック】

## よくわかる日本音楽基礎講座 ～雅楽から民謡まで 増補・改訂版

福井昭史 著

B5判・160頁 定価 2,640円

ISBN978-4-276-32168-7

「我が国(郷土)の音楽」の指導にあたり知っておくべき基礎事項を網羅。新学習指導要領に従って項目の追加や興味深いトピックやエピソードを追加。



【音楽指導ブック】

## 音楽の授業で タブレットをどう使う？

小梨貴弘、齊藤貴文、中島千晴、  
中原真吾、松長誠、渡辺景子、  
板橋薫、今井由喜 著

B5判・128頁 定価 2,200円

ISBN978-4-276-32177-9

ICTの実践に長けている小学校・中学校の先生方と、現場の実態を知る指導主事が、音楽の授業でのタブレット活用の事例を紹介する。



※定価(本体価格+10%) ※重版により、定価が変わる場合がございます。予め、ご了承ください。

音楽之友社

〒162-8716 東京都新宿区神楽坂6-30 TEL.03-3235-2151(営業) FAX.03-3235-2148  
<https://www.ongekunotomo.co.jp/>



## (雑誌) 季刊「音楽鑑賞教育」

豊富な実践報告が授業に役立ちます! 年4回(4月・7月・10月・1月)発行  
 【2023年度特集テーマ予定】4月: 主体的に学習に取り組む態度の評価とその指導/7月: どう取り組む? 問題発見・解決学習/10月: 授業でワクワク! 我が国や郷土の伝統音楽/1月: 読譜力・記譜力の育成(仮題)

## (書籍) よくわかる! 音楽鑑賞の授業づくり 小学校・中学校

平成29年告示学習指導要領対応。  
 学習指導から学習評価、教材研究から授業構想まで、音楽鑑賞の授業づくり決定版!!

## (書籍・DVD) DVDブック事例集・DVD教材

【DVDブック事例集「実践しよう! 鑑賞の授業」】①「春の海」「六段の調」/②郷土の音楽(青森ねぶた祭の音楽・神田祭の音楽・こきりこ)/③オーケストラの音楽I(トルコ行進曲・ペールギュント第1組曲・交響曲第5番他)/④歌曲(この道・赤とんぼ・魔王 他)/⑤オーケストラの音楽II(トランペットふきの休日・トランペットふきの子もり歌・ブルタバ 他) 【DVD教材】雅楽「越天楽」/尺八曲「鹿の遠音」

## (書籍) 音楽教育研究報告

【32号】問題発見・解決能力を高める音楽鑑賞の授業デザイン〜PBLの学習過程を活用した鑑賞授業モデルの検討(齊藤貴文)/【31号】主体的・協働的な学びを促す音楽鑑賞指導の研究—学びのデザインの視点に基づく授業づくりと実践を通して(音楽鑑賞教育実践研究会)/【30号】鑑賞指導における教材研究の工夫〜教材研究シートと楽曲構成図の作成(カリヨン音楽科教育研究会)/【29号】楽曲の特徴や演奏のよさを感じ取るための対話を取り入れた音楽鑑賞授業の工夫(広島県音楽鑑賞授業研究会)

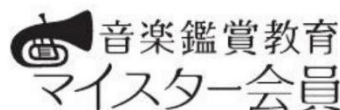


出  
版  
物

会  
員

## 音楽鑑賞教育マイスター会員

音鑑の個人会員プログラム。季刊「音楽鑑賞教育」のお届け、勉強会受講料割引など、指導者用デジタル教材として活用いただける映像教材の配信も準備中!!



勉  
強  
会

## ONKAN授業づくりセミナー2023

オンデマンド動画配信と対面グループ研修による、音楽鑑賞の授業づくりについての勉強会です。  
 第1回: 8月/第2回: 12月(第1回と第2回は同じ趣旨で実施) 対面グループ研修会場: 松本記念音楽迎賓館(東京都世田谷区)

## ONKANインターネットセミナー2023

よりよい音楽の授業を実現するために、多様で多角的な視点から音楽や音楽教育について見つめ直し新しい豊かな発想を開きます。  
 場所や時間を問わず参加しやすいセミナーです。 オンデマンド動画配信 6月、10月、2月の年3回配信予定

助  
成  
・  
後  
援

## 助成研究募集「鑑賞領域の学びを中心とした、音楽科教育に資する実践的な研究」

小学校・中学校・高等学校の音楽科教育に携わる教員、大学教員・大学院学生のみなさんを対象に、音楽科教育に資する実践的な研究計画を募集します。入選者には最大50万円の助成金が支給され、2年間の研究にお取り組みいただけます。 募集締切: 7月末

## 講習会等の後援(講師派遣・機材貸出)

各地の教育研究会による鑑賞指導に関する講習会などの取り組みを後援します。書籍「よくわかる! 音楽鑑賞の授業づくり 小学校・中学校」に基づく講習会開催の場合、講師料を音鑑が負担します。オーディオ機材貸出などもご相談ください。

各事業の詳細は ONKANウェブネットをご覧ください。

<http://onkan-web.net/>



AULOS

楽しさ広がる  
アウロス  
リコーダー



トヤマ楽器製造株式会社

本社 東京都板橋区大原町 41 番地  
〒174-0061 TEL (03)3960-8301 (代) FAX (03)3969-2377  
営業所 大阪市中央区北久宝寺町2丁目1番7号 本町 和光ビル802号  
〒541-0057 TEL (06)6264-7191(代) FAX (06)6264-7130  
ホームページ <http://www.aulos.jp/>

小島律子・関西音楽教育実践学研究会著 理論と実践 3 部作

DVD 付き A5・上製

## 生活感情を表現するうたづくり

日常生活で抱くイメージや感情をうたに表現する授業の理論と実践。

理論と実践  
2750円

## 楽器づくりによる想像力の教育

知覚だけでなく想像力を養う音楽教育を提起する理論と授業実践。

理論と実践  
2750円

## 学校における「わらべうた」教育の再創造

コミュニケーション能力の育成を目指す、わらべうた教育の理論と実践。

理論と実践  
2750円



## 増補・改訂 発達に心配りを必要とする子の育て方

松田ちから著 乳幼児期からの、神経発達症（発達障がい）の子ども自立心を育てる言葉かけや教員の作り方などを多数紹介。言語や日常的な動作が無理なく身に付く技法をやさしく解説。あわせてトイレ訓練の導入、好き嫌いの改善などに役立つ歌も楽譜つきで紹介。同名書籍を増補・改訂。 A5・3190円



## 3訂版 障がいの重い子のための「ふれあい体操」

丹羽陽一・武井弘幸著 愛情いっぱいふれあいと歌を通して子どもの身体感覚に働きかける体操。

CD 付き

B5・2640円

## 特別支援教育の授業を「歌で盛り上げよう！」

歌入り CD・カラオケ CD 付き

CD 付き

武井弘幸著 小島薫協力 歌（音楽）は、子どもが生き生きと授業に取り組むための潤滑油！

B5・3300円

黎明書房



〒460-0002 名古屋市中区丸の内 3-6-27 EBS ビル \*価格は税(10%)込  
☎(052)962-3045 / FAX(052)951-9065 <http://www.reimei-shobo.com/>



# 船場小川楽器株式会社

〒541-0055 大阪市中央区船場中央1丁目4番  
3-310 船場センタービル3号館3階

電話(06)6261-4040 Fax(06)6261-7522

YouTube <https://www.youtube.com/@user-oj7ko3pg7p>

公式サイト <http://www.ogawagakki.com/>

E-mail [kotogawa@oak.ocn.ne.jp](mailto:kotogawa@oak.ocn.ne.jp)



公式サイト

必撮仕事人

舞台写真



株式会社  
フォトライフ®

TEL. (042) 483-7711  
FAX. (042) 498-0282  
〒182-0022 東京都調布市国領町8-5-10

デュニーのオキユペーション概念に基芸術的構成活動  
小島 律子著 八二五〇円

近森一重の音楽教育理論の研究  
島田 郁子著 八八〇〇円

子どものことばとうたの結びつきに関する研究  
坂井 康子著 七二五〇円

フランス語圏スイスの学校音楽教育  
今 由佳里著 五五〇〇円

近現代日本教員史研究  
船寄俊雄・近現代日本教員史研究会編著 四九五〇円

器楽教育成立過程の研究  
櫻下 達也著 九九〇〇円

音楽的経験における小学校音楽科授業構成の研究  
意味生成を原理とした  
齋藤百合子著 一〇〇〇〇円

質の経験としてのデュニー芸術的経験論と教育  
西園 芳信著 六〇五〇円

音楽的活動における保育者の発信的・応答的能力の向上  
田崎 教子著 八二五〇円

コミュニケーション音楽療法への招待  
B・ステイゲル・E・オーロ著 杉田政夫監訳 三八五〇円

日本の音楽教育へのリトミック導入の経緯  
板野 晴子著 五五〇〇円

音楽科における教育内容論の成立と展開に関する研究  
山中 文著 八八〇〇円

ジャッククルダルクローズの教育観の発展  
細川 匡美著 六〇五〇円

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-34  
TEL 03-3291-5729 FAX 03-3291-5757

風 間 書 房

https://www.kazamashobo.co.jp  
E-mail pub@kazamashobo.co.jp (価格税込)

## 芸術鑑賞会・音楽鑑賞会はお任せください！

～未来が拓けるコンサートをデザインします～



おかげさまで52年目を迎えました

学校公演（芸術鑑賞会・音楽鑑賞会）、会館自主事業をプロデュース。

多彩なジャンル（音楽・パフォーマンス・古典芸能）、一流の団体よりベストなコンサート企画をご提案致します。



Orchestra



Big Band Jazz



Hybrid Instrumental



Japanese Tradition

### 取扱ジャンル

オーケストラ・吹奏楽・合唱・オペラ・ブラスアンサンブル・弦楽アンサンブル・ジャズ・ラテン・打楽器・アカペラ・  
ゴスペル・アクロバット&ダンス・和太鼓・和楽器・ピアノ・世界の民族音楽・落語・狂言・歌舞伎 他

芸術鑑賞会・音楽鑑賞会・コンサート企画をお考えの際は、お気軽にお問い合わせ下さい



## (株)東京音楽鑑賞協会



〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-31-8 高田馬場ダイカンプラザ 1009 TEL 03-6233-6300 FAX 03-6233-6301

E-mail: tokk-tokyo@nifty.com URL: http://www.tokk.co.jp/

### グループ会社のご紹介

**Chleru**

チエル株式会社  
子供たちの未来のために  
世界中の先生の授業を  
ICTで実える

**Chleru**

沖縄チエル株式会社  
沖縄の学校を  
ICTで実える

**Chleru**

チエルコミュニケーションズ株式会社  
未来のヒトづくりに貢献し続ける

**Collabo**

株式会社コラボレーションシステム  
オンライン授業・対面授業を支える  
ICT製品を

# ZEN-ON RECORDERS

ゼンオンリコーダー

歌うように奏でる、音を紡ぐ喜び  
音楽体験をリコーダーとともに、いつまでも  
それが私たちの願いです。



株式会社 全音楽譜出版社  
<https://www.zen-on.co.jp>

〒161-0034 東京都新宿区上落合2-13-3  
Tel. 03-3227-6270 Fax. 03-3227-6276

小学校音楽科における確かな「学力」を育成するために  
「生成の原理」をもとにデザインした授業を実践へと導く

学習評価やインクルーシブ教育などの内容を見直した新版です！

新版

# 三訂版 小学校音楽科の学習指導

—生成の原理による授業デザイン—



監修

京都教育大学教授  
清村 百合子

大阪教育大学名誉教授  
小島 律子

- 教科の目標・指導内容がわかる
- 指導計画が作成できる
- 授業が実践できる
- 評価・評定ができる

学習指導要領に対応した学習指導案を  
多数掲載！

小学校音楽科の授業や  
教員養成において必要となる  
すべての内容を収録！

- 序章 これからの小学校音楽科教育
- 第1章 音楽科の目標
- 第2章 音楽科の指導内容と指導計画及び評価
- 第3章 音楽科授業の実践
- 第4章 歌唱共通教材の研究(楽譜付き)
- 第5章 音楽科における関連と連携
- 資料

B5判/168頁  
定価:1,925円(本体1,750円)  
ISBN 978-4-908255-74-8

<https://www.aktk.co.jp/>

あかつき教育図書株式会社

〒176-0021 東京都練馬区貫井4-1-11  
☎ 03-3577-8966